



PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート（第 22 回）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2024 年 6 月 9 日（日）10:00-11:30

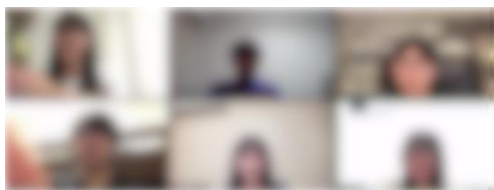
会場：オンライン（Zoom）

参加者：15 名（ディベーター 12 名、ジャッジ 2 名、見学 1 名）

ディベートの様子

今月のキーノートディベートの論題は、“**At the age of 20, the eggs should be frozen. (20 歳になったら卵子凍結をすべきである。)**” でした。

肯定側はキャリアや妊娠・出産・子育てにかかるコストの問題から、子どもを持つことを諦めていた人へ選択肢を増やすことの重要性について、否定側は卵子凍結のリスクや宗教上の背景など様々な観点から論を展開しました。

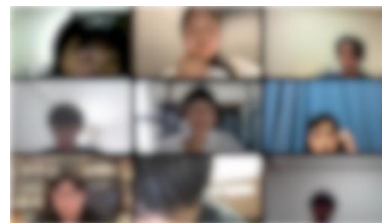


ディベート後の握手の様子

今月のキーノートスピーカーは、自身が卵子凍結をした経験のある方がご登壇されました。従来、がん患者などのみが行うことができていた卵子凍結ですが、2013 年から健康な独身女性でもすることができるようになりました。それらの背景だけでなく、自身が卵子凍結を考えはじめた頃に考えたことや、採卵中・卵子凍結をした直後に感じたことなどをお話しいただきました。最後に自身が友人らから相談を受けたとしたらどのようなメッセージを送るのか、卵子凍結をするに至った場合に気をつけるべきこととは何かなどについてお話しいただきました。

卵子凍結の経験を語る

～体外授精を経て、出産まで～



キーノートレクチャーの様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ 久々のディベートで緊張しましたが楽しむことができました。また、貴重なお話を伺うことができ良かったです。女子生徒のキャリア支援に関心をもっているため、大変勉強になりました。
- ・ 貴重なお話有難うございました。特に心理面の葛藤、夫婦の合意などとても勉強になりました。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございます。精進します。
- ・ 興味深いテーマでした。とても深く考えさせられました。今後もこのような繊細なテーマもディベートしていきたいです。
- ・ 難しい論題だったが、ただ話を聞くよりもまず自分で考えてから聞けるのがさらに興味を持って良かった。他校の人と初めましての状態ディベートするのは初だったので緊張もしたが楽しみが増した。
- ・ 今回のディベートの論題は難しかったですが、説明を聞いて今度からは背景を考えてディベートできそうになりました。とても有意義な時間でした。